

# 六歌仙ゆかりの花山からやきものの里へ

和歌で有名な僧正遍昭や花山法皇の足跡を探索しながら清水焼の生産地へ歩みを進めます。清水焼団地では、展示場や店舗をウォッチング。買い物はもちろん、手びねり・絵付けの体験など京都の伝統工芸の奥深さにふれることができます。

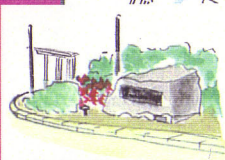


**[交通案内]** 地下鉄東西線御陵駅下車・出口①  
**[順路]** 距離 約3km  
 地下鉄御陵駅 → 六兵卫池公園湧水 → 元慶寺 → 北花山水路記念碑 → 遍昭墓 → 清水焼団地  
 13分 7分 4分 12分

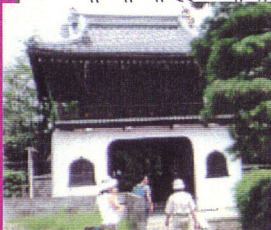


C

コース



陵ヶ岡みどりの径(みち)



②



六所神社

**①「六兵卫池公園の湧き水」**  
 以前、湧き水でできた六兵卫池と呼ばれる池がありましたが、現在は美しい公園として整備されています。公園の奥からは今も水が湧き出ており小川となって流れ出ています。陶芸家、清水六兵衛にちなんで名づけられました。

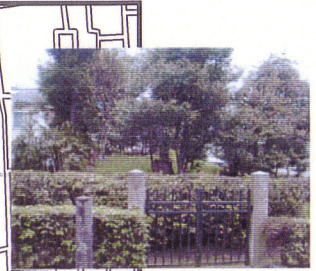
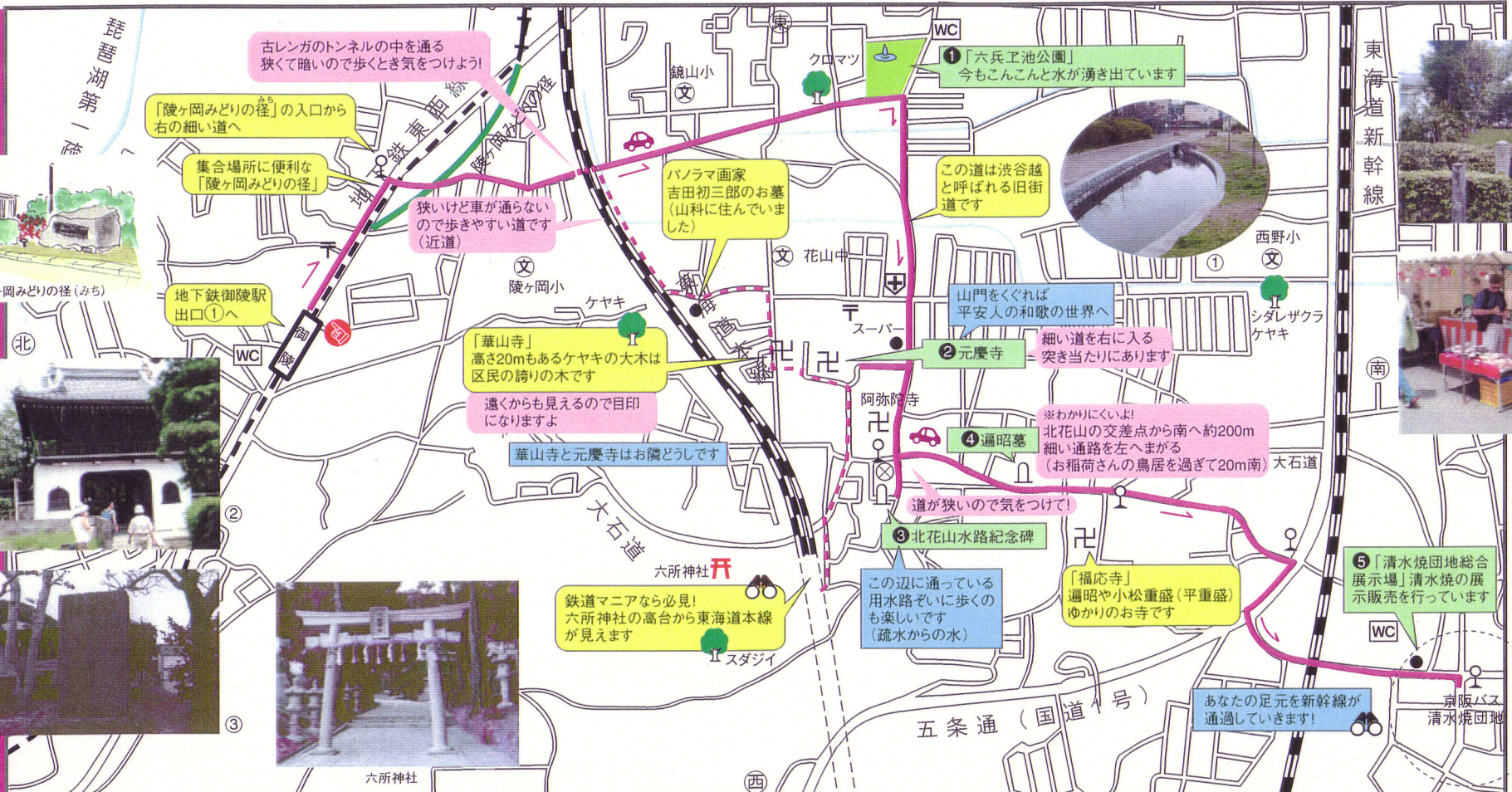
**②「元慶寺(がんけいじ)」**  
 僧正遍昭(そうじょう=最も位の高い僧) (へんじょう)と花山法皇(かざんほうおう)ゆかりの寺で、869(貞観11)年に創建。本尊薬師如来像や遍昭の像が安置されています。西国三十三所の番外札所で竜宮造の印象的な門が参拝者を迎えます。

**③「北花山水路記念碑(きたかざんすいりきねんひ)」**  
 小高くなっているこの地域では昔から水の確保に苦労がありました。1892(明治25)年に疏水から水を引く水路を通し、各村の農業用水の確保ができることとなりました。この用水は現在でも使われ、部分的に大石道沿いから見ることもできます。

**④「遍昭(へんじょう)墓」**  
 六歌仙(ろっかせん)(平安初期の代表的歌人)のひとり、桓武天皇の孫でもある僧正遍昭(816~890)のお墓。元慶寺の南約300mにあります。「天津風 くものかよひち ふきとちよ 乙女のすがた しばしとどめん 遍昭」

**⑤「清水焼団地」**  
 清水焼の窯元や店舗などがあつまる伝統工芸のスポットです。毎年7月の「陶芸まつり」や、10月の「楽陶祭」では、多くの出店が並び、展示即売や陶芸教室、お茶席など、さまざまなイベントが催され、家族で楽しむことができます。

**清水焼団地へのアクセス**  
 京阪バス (路線番号)  
 山科駅より 29  
 四条河原町方面より  
 82C 83 84 85 86 87 88 89  
 ※問い合わせ先  
 京阪バス山科営業所  
 075-581-7188



④



⑤